

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

基本事務事業名] 工場・事業場の排水対策の推進事業（201）

評価年月日] 平成12年11月14日

担当部課名] 大気水質課

記入課名・課長名・電話] 大気水質課 課長 筒井照雄 059-224-2384

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策] 資源循環型社会の構築（Ⅲ-2）

施策] 水環境の保全（3）

総合計画の目標項目] 環境基準の達成・維持

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策] 快適で豊かな農山漁村づくり

2 基本事務事業を巡る環境変化（過去、現状、将来）

- ・対象となる工場・事業場数は年々増加している。
- ・基準項目追加等水質規制が強化された。
- ・環境保全への住民意識の高まり。

（将来）

- ・規制対象工場・事業場は今後も増加する。
- ・今後も規制は強化される。
- ・休廃止鉱山から坑廃水が流出し続ける限り継続的に処理を行わなければならない。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図（何をどういう状態にしたいのか）

水質汚濁物質の排出量を削減するため、排水基準の遵守など、法、条例の規制を的確に実施する。

3-(2) 成果指標名・成果指標式（総合計画の目標項目には＊を付す）

法・条例遵守率

$$\left(\frac{\text{立入検査実施件数}}{\text{立入検査計画数}} \right) \times \left(1 - \left(\frac{\text{違反件数}}{\text{立入検査実施件数}} \right) \right)$$

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明（指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など）

法・条例の基準違反がなくなること为目标としている。

3-(4) 結果（施策における2010年度の目標）

環境基準の達成・維持

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度（11年度）における基本事務事業の結果評価

①前年度に行った内容と成果

水質汚濁防止法等により工場・事業場の排水について立入検査等を実施し指導を行った。

②前年度に残った課題

排水基準違反等で指導した工場・事業場はまだ存在する。

4-(2)本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

継続して、排水の行政検査、施設の監視等の立入検査を実施し、工場・事業場から排出される汚濁負荷量の一層の削減を図る。

②本年度残ると思われる課題

5 基本事務事業の改革方向

工場・事業場の自主管理を推進し、県の指導等の事業量を削減する。
未規制事業場の指導について検討する。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等 (千円)		必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間 時間	時間	
前々年度 (H10年度)	1	0.95		26,584 26,236		136,251
前年度 (H11年度)	1	0.96		20,594 21,876		111,380
本年度 (H12年度)	1			11,049 15,550		76,204
本年度補正後 (H12年度)				+(or ▲) +(or ▲)		+(or ▲)
翌年度 (H13年度)		_____		18,577 17,850		93,369
計画目標年次 (H 年度)		_____		_____		_____

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合

直接的に貢献する

◇工場・事業場排水規制費→

間接的に貢献する

△小規模事業場等排水状況調査(新) ↑ ・休廃止鉱山鉱害防止事業費補助金→

貢献度合の考慮外
～活動基盤となる
事務事業など

即効性(2年以下)

中期的(3年～5年)

長期的(6年以上)

効果発現までの期間

※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

※ 新規事務事業には、事務事業名に (新)を付す

[illegible]